



諫早市出身の**役所広司**さんが「第76回カンヌ国際映画祭」において、**最優秀男優賞**を受賞されました！
今回は役所さんの出演作品の**原作本**をいくつか紹介したいと思います！
映画と共に楽しんでください！(*^-^*)

『**蝸ノ記**』
葉室麟／著（祥伝社）

第146回直木賞受賞の時代小説。
（「蝸ノ記」2014年公開）



『**司馬遼太郎全集 14 関ヶ原 1**』
司馬遼太郎／著（文藝春秋）

関ヶ原の合戦を描いた歴史小説。
（「関ヶ原」2017年公開）



『**銀河鉄道の父**』
門井慶喜／著（講談社）

第158回直木賞受賞作。
（「銀河鉄道の父」2023年公開）



『**果てしなき渴き**』
深町秋生／著（宝島社）

第3回『このミステリーがすごい!』大賞
受賞の推理小説。
（「渴き。」2014年公開）



（ティーンズスタッフ：加密列）

【発行】諫早図書館（TEL：23-4946） 【協力】諫早図書館ティーンズスタッフ

～中高生むけ図書館だより～

OWL NEWS

Vol.
28



(ティーンズスタッフ：曼珠沙華)

2023. 夏号 (2023. 7月 発行)

わたしたちのおすすめ本



『チ。第1集 地球の運動について』 魚豊／作・画（小学館）



昔、ある男は言った。「それでも地球は動いている」と。
C教が公認する天動説ではなく、地球が動いていると考える地動説を唱え研究する者たちは、C教から異端者とみなされ、拷問処刑される。だが彼らは、それでも研究を続ける。命を捨てても曲げられない信念があるから。

世界を敵に回しても研究を続ける者たち。
なんとしても研究を止めたい聖職者。

二つの視点から見ることで、「宗教とは何か」「命をかけるということ」について、深く考えさせられます。

特に、星好きの人におすすめです。

(ティーンズスタッフ：ブレーメン)



『図書館奇譚』

村上春樹／著

カット・メンシク／イラストレーション

(新潮社)

図書館の貸出コーナーには見たことのない中年の女性が座っていた。僕が本を探しているというと、彼女は「階段を下りて右。107号室」と言った。この図書館に百回も来ているが、地下室があったことは初耳だった。

図書館の奇妙な地下室に閉じ込められてしまった少年の物語。



(ティーンズスタッフ：夏夜)





『夏への扉』

ロバート・A.ハインライン／著
福島正実／訳（早川書房）

ダンの飼っている猫のピートが、冬になると「夏への扉」を探し始める理由は、家にあるドアの一つが、夏に通じていると信じているからだ。

1970年12月3日、ダンも「夏への扉」を探していた。親友と恋人から裏切られ、発明もだましとられてしまったから。

復讐を試みるも返り討ちにあって意識を失い、ダンの心は冷凍睡眠で未来へと送りこまれてしまう。

目覚めた未来でタイムマシンの存在を知り、過去に戻ろうと…。



ロバート・A.ハインラインの不朽のSF作品。

(ティーンズスタッフ：加密列)

ティーンズスタッフイベントのお知らせ



諫早図書館のティーンズスタッフが企画したイベントを開催中です！

ティーンズスタッフの活動の見学希望の方や興味のある方は、お気軽にお尋ねください！

☆ ティーンズ^{コレクション}福袋

6/24(土)～なくなり次第終了

ティーンズスタッフが選んだオススメの本3冊を貸出します！オリジナルの「しおり」のプレゼント付き！

☆ 第2回みんなの推し本総選挙

6/24(土)～8/31(木)

あなたの推し本(=お気に入りの本)を教えてください。

本のタイトルとその本のキャッチフレーズを書いて投票しよう！

